前日準備

高菜汁粉

欠ける

爪が欠けた

あなたの髪を

梳かすつもりなのに

爪が欠けた

やわらかな肌を

撫でるつもりなのに

手入れをするほどに

爪は薄くなって

疲弊していく

何もしないままで

つまらない姿を

晒し続けるなんて

朽ちてしまうのを

ただ待つだけの

植物みたいだ

爪が欠けた

あなたのために

綺麗にしてるだけなのに

にきび

はたちを過ぎたら

吹き出物と言うらしい

でもにきびって言い方を

気に入っていた

毎日ケアしていても

昨日はいなかったはずなのに

ぶつりと顔を出すの

例えば

デートの前の日とか

薬を塗って抑えようとしても

なかなか素直に

きいてくれる日は少ない

あなたにだけは見せたくない

髪の毛で隠しても

ふとした瞬間に

痛みと共に姿を表す

今日はつるりとした肌だった

明日は特別な日だから、と

祈りながら眠る

トリートメント

長い髪の

一本一本に行き渡るよう

丁寧に撫でる

触れられたときに

するりと抜けて

捕まえられないために

毛先にたっぷりと含ませて

しばらく待っている

あなたと過ごす時間より

長く感じてしまう

自分のために

自分と向き合っている

はずなのに

あなたのことばかり

考えてしまう

私がいるの

最後に流すときは

あなたへの想いと一緒に

さよなら、さよなら

トリートメントは

流しすぎてはいけないのだけど